

平成 29 年(2017 年)度 第 1 回 理事会議事録

I. 日時： 平成 29 年 4 月 21 日（金） 19：10～21：00

II. 場所： 神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数

出席理事： 錠内、澤口、佐藤、奥原、神保、吉本、遠藤、野本、名古屋、作田、内山、野々垣、木村、
村越 計 14 名

欠席理事： 福留

出席監事： 清宮、田中

欠席監事： なし

その他： 大郷(制度対策部)、出口(広報部)、金山(事務局)、山口(書記)

IV. 議長団選出

議長： 錠内会長

副議長： 澤口副会長

議事録署名人： 作田理事

清宮監事

V. 配布資料

事務局／財務部／監査報告／広報部／福利部／制度対策部／ウェブサイト管理委員会／学会評議委員会／
平成 28 年度決算報告書／第 4 回社員総会議案書

VI. 回覧資料

1. 『リハビリテーション専門職による「地域リハビリテーション活動支援事業」を推進する為の手引き』：
兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷
2. 『厚生労働省 平成 28 年度障害者総合福祉推進事業 障害者における支援機器の活用による効果検証および
シームレスな支援体制の在り方に関する研究事業』：公益社団法人日本理学療法士協会
3. 『兵庫県作業療法士会設立 30 周年記念誌』：一般社団法人 兵庫県作業療法士会

VII. 報告事項・審議事項

1. 事務局

<報告事項>

(1) 渉外

1) 各養成校に対して 平成 28 年度卒業生に対し祝電を送付

2) 医療職連合会について

①4 月 19 日（水） 19：00～ 事業企画、広報委員会（工学技士会事務所）

②5 月 17 日（水） 19：00～ 5 月定例理事会（工学技士会事務所）

③6 月 28 日（水） 18：30～ 連合会総会＋講演会（かながわ労働プラザ）→代議員として各理事が出席

(2) 行政および職能団体関連

1) 神奈川県総合リハビリテーション事業団より

「第13回かながわりハビリテーションケアフォーラム」共催についてお礼の文書が届いた。

2) 藤沢市障がい者介護給付費等支給審査会 委員について

→藤沢市が直接、藤沢病院の西前氏へ依頼済み。今後は士会に依頼をもらう。

(3) 後援名義使用依頼

1) 神奈川県保険医協会より「第26回在宅医療介護セミナー」の後援依頼

日時 5月14日(日) 場所 横浜市社会福祉センターホール →理事メールにて承認。

(4) 他団体より研修会等周知依頼

1) 平成28年度「かながわ認証・かながわベスト介護セレクト20フォーラム」開催のご案内

日程：3月22日(水) →理事メールにて配信、及びウェブサイト掲載。

2) 神奈川県立保健福祉大学 平成29年度ヒューマンサービス公開講座〈春季〉 →ウェブ掲載済み

3) 横浜嚙下障害症例検討会より市民公開講座のご案内 →ウェブ掲載済み

(5) 士会員について

1) 各養成校への案内配布について

入会案内と入会申込書を配布。3月末発行のニュースにも入会案内を挿入。平成28年度入会者は276名。

(6) 協会関連

1) 生活行為向上マネジメント推進プロジェクト委員会においては、平成29-30年度推進委員の推薦

→木村理事を推薦。

2) 【情報提供】 広報誌“絆”第37号のご案内 →理事メールにて配信。

3) 【情報提供】 『地域リハビリテーション専門職による「地域リハビリテーション活動支援事業」を推進するための手引き』 →理事メールにて配信。

4) 【情報提供】 兵庫県作業療法士会30周年記念誌に関して →理事メールにて配信。

5) 【情報提供】 OT協会よりDVD「作業療法との出会い～その取り組みと姿を追う～」 →理事メールにて配信

6) 【情報配信】 中医協・介護給付費分科会資料 配信のお知らせ →理事メールにて配信。

7) 【情報提供 訪問リハ振興財団】 平成29年度第8回訪問リハ・地域リーダー会議のご案内

→木村理事は運営として、遠藤理事、佐藤準部員が参加予定。

8) 情報提供・回覧】 「Asian Journal of Occupational Therapy」冊子版 vol. 11, 12 →理事メールにて配信

9) 【情報提供】 文科省：発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン策定について →理事メールにて配信。

(7) 一般社団法人神奈川県作業療法士会 平成29年度 第4社員総会について

平成29年5月14日(日) 受付：9:15～ 総会：9:45～ 場所：横浜市開港記念会館

<審議事項>

(1) 役員の推薦の件

1) 監事推薦の件 糊澤直美 (くるみさわ なおみ) 氏 (湘南医療大学) →承認

(2) 会長互選の内規について

「会長」→「会長及び副会長並びに事務局長」に修正。選挙方法に関しては候補者が複数いる場合を第5条、候補者がいない場合を第6条とする。第6条以下の条数を変更する。

→理事MLにて修正版を確認するが、承認となる。

(3) 後援依頼の件

1) 一般社団法人 交通事故被害者家族ネットワーク (米山さま) からの依頼

交通事故被害者の家族会で神奈川県内の医療・福祉従事者様向け無料講習会を実施予定。

日時：平成29年7月29日(土) 14:00～16:30 場所：「横浜市社会福祉センター」 →承認

2. 財務部

<報告事項>

(1) 28年度期末監査について：4月15日（土）14：00～実施

1) 修正なし部門：学術部（学術誌・スキルアップ・研究助成）、広報部（広報・ニュース）、ウェブサイト管理委員会、規約委員会、公益法人可対策委員会、学会評議委員会、制度対策部（会議・福祉用具・災害対策・社会制度保障）、事務局（事務局・選挙管理・行事）、財務部

2) 記載方法について 以下の依頼が財務よりされる。

①交通費は IC 料金ではなくて切符現金料金で記帳する。

- ・ IC 料金の方が切符料金よりも高くなる場合がある為、実際の交通費で請求してもよいではないか。
- ・ 理事会に車で来ている人もいるが交通費で換算している。ルールを統一すればよいのでは。
- ・ 定期を利用している場合、途中下車をすることで切符を買うこともできるが、その手間よりも IC 利用を選択したと判断することもできる。

→IC 料金で記帳する形で統一する。

②研修会参加費収入も出納帳簿に記帳する。

③上半期の処理は上半期内に行う。

- ・ 部・委員会のお金が動いた日を出納帳に記入するのではなく、実際にお金が動いた日の日付順に出納帳を記入してほしい（監事）。
- ・ 現在の会計マニュアルとは内容が異なる所がある。
- ・ 部員毎に立て替えている場合に一度に精算する事は難しく、日付順の記入は困難。

→財務部で情報を集約し、必要であればマニュアルを修正する。

④コンプライアンスの再確認・再徹底をほしい。

2) 監事報告（別紙参照）

以下の2点について説明がある。

- ①一人が抱え込むと、その人が忙しくなったとき、仕事がおろそかになる。特に会計は二重チェックが必要。人材育成も視野に入れ、仕事を分担し部・委員会が円滑に運営できるよう工夫する必要がある。
- ②コンピューターソフトの修正など目に見えないものは実施されたい内容を書面でチェックできる機能を作る必要がある。監査は見積もり、納品書を見て実施しているため必要。月ごとに支払う方法や仕事ができなければ支払わないという方法もある。失敗は仕方がないが最低限にすることが必要。

3) 会計ファイル修正について 事務局より後日連絡予定。

4) 29年度予算振込について

- ①総会終了後、6月の理事会開催までに理事が決定する。決定後に、事務局より理事宛に送付予定。
- ②会計ファイルで確認しやすいように書式変更予定。
- ③出納帳簿シートと現金実査調書の1枚化：ミスの早期発見・自己修正を目的→H29年度より変更。

5) 会計説明会開催に関して

6月中に新理事、新会計担当者+財務より個別に部門ごとに依頼。財務部より後日連絡する。

会計説明会：処理の仕方+コンプライアンス徹底

<審議事項>

(1) 28年度決算および29年度予算案について 理事に確認を取った。

(2) 総会での提示資料 内容を確認した。

(3) 研修会開催報告書の提出先変更について

事務局では研修会の開催予定を知る術がなく、期日に報告書の提出の促しが困難であるため。

- ・ 研修の事前・事後報告の項目が多く、研修会の運営準備を含め期日までに書類を提出する事が負担となっ

ている。報告書内容のスリム化が必要ではないか。

- ・会計を分担するのは難しい現実がある。
- ・今は理事と実行部隊が一緒だが、そこをわけて行ってほしい。なるべく人を育てる方法で頑張してほしい
(監事)
 - 税金・源泉徴収等の手続きに必要な項目を確認し、報告書のスリム化を図る。
 - 現状は、現在の報告書を使用し、提出先は理事メールに変更とする。

3. 広報部

<報告事項>

- (1)今後のニュース発行予定 提出資料参照。
- (2)185号(5月発刊)スケジュールについて 提出資料参照。
- (3)対外広報班の活動予定
 - 1)ブロック毎に担当者を設け、活動拡充を図る
 - ①横浜ブロック長 : 水野友和(部員) 横浜新都市脳神経外科病院
 - ②相模原ブロック長: 佐藤隼(部員) さがみりハビリテーション病院
 - ③県央地区ブロック長: 酒井由香里(班長兼任) えびな脳神経外科
 - 2)28年度内企画報告「地域リハビリテーションケアフォーラム ブース出展」
 - ①ブース対応者: 酒井班長
 - ②来場者: 91名(スタッフ含む) 79名(一般・医療福祉従事者来場者)
 - ③配布: パンフレット 36部、滑り止めシート 50個
 - ④相談対応: 約7~8件(介護相談・作業療法の紹介・訪問リハビリの内容など)
 - 3)29年度企画「相模原市さくら祭り(平成26年4月1・2日開催)」
 - ①自助具作成体験: ボタンエイド 60個配布
 - ②配布: パンフレット 100部、ペットボトルオープナー42個、滑り止めシート 31個
 - 4)今後の予定
 - ①7月 ヨコハマヒューマンテクノランドブース出展
 - ②未定 学生向け職業紹介マガジン さくらノートの(ウェブ版)への投稿

<審議事項>

- 1)部員承認について
次回の理事会にて行う。遡り4月からの任期となる。現時点ではオブザーバーとして部の活動に参加し、次回の理事会にて部員の承認を受ける事とする。

4. 福利部

<報告事項>

- (1)求人・求職の登録および情報提供 提出資料参照。
- (2)職場見学・体験会班
 - 1) 職場見学・体験会 「起業編 通所介護・訪問リハビリステーション」
日時: 2017年3月11日(土) 13:00~16:00 場所: 『株式会社リーフスタイル』
講師: 山崎純一氏 参加人数: 10名※県士会ニュース5月号、WEBサイトに開催報告掲載予定
- (2)表彰班
 - 1) 神奈川県作業療法士会 表彰規約 社員総会議案として提出
- (3)新入会員オリエンテーション&歓迎会班

1) 2017 年度 新入会員オリエンテーション&歓迎会(新入会員向けの企画で学術部と共催)

日程：平成 29 年 6 月 11 日(日)学術部研修後(12 時過ぎくらいから)

場所：横浜リハビリテーション専門学校地下 1 階

内容：新入会員の歓迎、県士会・今年度の県士会事業の紹介、日本作業療法士協会の歩み(DVD 視聴)等

(4)新入会員推進班

- 1) 入会済み案内チラシの作成 事務局にて入会手続き書類に同封する。

5. 地域リハ部

<報告事項>

(1)研修会について

- 1) 研修会企画「難病リハビリテーション研修会 2016」

日程：平成 29 年 3 月 26 日(日) 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加者数：35 名 (OT 以外 3 名)

(2)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

- 1)事例収集協力

訪問リハビリテーション振興財団から訪問リハビリ事例収集の依頼が協議会へあり、各地域の連絡会代表へ訪問リハビリの事例収集依頼をしている。

- 2) 今年度計画について

①訪問リハビリテーション実務者研修会 開催：平成 29 年 7 月 8～9 日(予定)

②神奈川県訪問リハビリテーション学術大会 開催：平成 30 年 1 月 21 日(予定)

(3)その他

- 1)平成 29 年度 第 8 回訪問リハ・地域リーダー会議(訪問リハ財団主催)

日程：平成 29 年 5 月 19～20 日開催 参加者：各県士会代表最大 2 名選出→遠藤理事ともう一名参加。

- 2)2016 年度神奈川県介護予防従事者研修実施報告書

介護予防従事者研修会の報告書が来ている。今年度も同様に開催予定。

6. 制度対策部

(1)大規模災害時における会員被災状況確認システム

- 1)概要

神奈川県作業療法士会員の安否および被災状況を確認し、県市区町村・日本作業療法士協会・JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)と連携して、大規模災害時における支援活動に役立てる。

- 2)システム運用要件

①神奈川県において最大震度 5 強以上を観測した場合

②その他、神奈川県作業療法士会会長が必要と判断した場合

「上記の項目のどちらかを満たした場合、神奈川県作業療法士会 HP のトップページに会員安否確認フォームを開設する」という提案だったが、「常時リンク先を掲示しておく事は可能であるが、有事の際にウェブサイト管理委員会の部員がホームページを操作する事はセキュリティ上、難しい」との意見あり、以下のように変更とする。

→常時リンクを掲示しておき、当システムについて会員への周知を行っていく。

→9 月 1 日を目標にテスト運用を検討。

7. ウェブサイト管理委員会

<報告事項>

(1) 県士会サイトの管理とアクセス件数 提出資料参照。

(2) 2016 年度総括

- 1) 「講習会」の掲載依頼は増加したが、「求人情報」の依頼が減少した
- 2) アクセス件数は年単位で見ると増加したが、H29 年に入りアクセス件数が横ばいからやや減少に転じている。若者の PC 離れが反映しているか。来年度は、フロントページのスマホへの対応を検討する必要がある。
- 3) 更新されなかった部署のページが、今年度は多かった

8. 学会評議委員会

<報告事項>

(1) 第 16 回神奈川県作業療法学会準備委員会 (H29. 4. 12.) 報告

1) 参加者：学会評議委員 (荻野)

2) 決定事項

- ①企画内容、プログラム②) 演題 73 題。修正後採択が多くやり取りが大変だった為、今後検討が必要。③学会誌入稿期日確認④事前参加登録人数の確認⑤6 月の会議は中止。前日 13 時からの会場準備と当日のみ。前日、当日のスタッフの交通費は一律 2000 円とする。⑥講師やスタッフの控室の確認

(2) 抄録集について

5/31 までの入会者には送付、以降の入会者には当日に自己申告で会員に渡す。学会後の入会については自己負担としたい。→自己負担で対応する。

9. 渉外・会議参加報告

(1) 県高齢福祉課との打ち合わせ

1) 参加者 PT/OT/ST 士会の代表 澤口副会長出席

2) 内容

①地域ケア会議への専門職派遣について

県より、現在地域ケア会議へのリハビリ職の参加が少ない。H29 年度 6 月から各市町村にリハ職参加に関する公募を始める予定との説明あり。澤口副会長より、地域ケア会議に OT が参加するメリットについてチラシの作成を提案。→チラシは作成する方向で地域包括ケア推進委員が検討する。

②モデル事業の実施 海老名市を中心に実施の予定。

③今後の検討事項 謝礼入金先 (個人または士会)。OT がどの市町村に派遣されたか把握する必要がある。どこに依頼したらよいかわからないときは三団体へ。

10. 第 4 回社員総会議案書

各部・委員会にて担当ページの内容の再確認を行う。編集が必要な箇所は事務局へ連絡。

以上 (文責：山口・金山)

VIII. 次回理事会開催日時・場所

平成 29 年 6 月 8 日 (木) 19:00 より

一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301

TEL/FAX 045-663-5997

議事録署名人

議長：

錠内 広之

印

理事：

作田 浩行

印

監事：

清宮 良昭

印